

シャインマスカット等果樹栽培講演会

6月23日、町は、町産フルーツの生産を増やし観光客への新たなおもてなしとするため、12年前からシャインマスカットを生産・販売する「那須しらゆき」園主の渡辺邦男さんを講師に招き、栽培方法等を学ぶ講演会を開催しました。

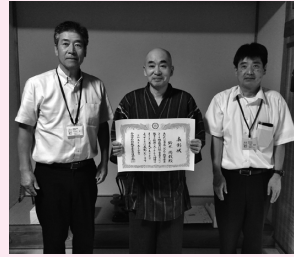


「シャインマスカットの栽培方法の中には、米の育苗ハウスを活用する例もあることから、農家の新たな収入源にもつながる」など、渡辺さんの話を聞き、具体的な栽培の流れや工夫などを知ることができました。

※今後は収穫作業等の見学会を開催予定です。

■見学会に関する問合せ 農林振興課農政係 ☎72-6911

令和5年度全国市町村教育委員会連合会功労者表彰



右から平久井教育長、鈴木委員、佐藤学校教育課長

鈴木尚哉さん（新町）は、那須町教育委員会委員として長年にわたり地方教育行政の発展と充実に尽力されました。その功績が認められたことから、全国市町村教育委員会連合会から表彰されました。6月8日、平久井教育長から表彰状が手渡されました。

栃木県誕生150年記念イベント開催

今年で栃木県が誕生150年目を迎えることを記念して、お笑いコンビU字工事の漫才や150を超えるブースが出店する記念イベントが開催され、県庁周辺は多くの人でにぎわいました。

町では、昨年開催のいちご一会とちぎ国体で大人気だった「かき氷自転車」を出店し、国体のレガシーを伝えました。また、道の駅那須高原友愛の森では、ニンニク塩で味わうフランクフルトを販売し、応援に駆けつけた平山町長と共に、那須高原の食の魅力をもPRしました。



中学生が知事と語る「栃木の魅力」

6月15日、栃木県誕生150年を記念して、福田富一知事と県内25市町の中学生が県魅力を語り合う「知事と語り！とちぎ元気フォーラム」が県庁で開催されました。町からは、那須中央中学校で生徒会長を務める板垣結衣さん（3年）が参加しました。



考えを発表する板垣さん（写真中央）

トークテーマ「県外の人々が魅力を感じる栃木県」について、板垣さんは「県のPRをたくさんすることが大切。そのために私たちは、この場のように県内の中学生が話し合う機会を持ち、今後も意見交換を続けることが重要だと思う」と発表しました。

さまざまな意見を聞いた福田知事は「皆さんは新しい栃木を作る原動力。栃木のために真剣に考えてくれてうれしくも頼もしくもある」と語り、今後の活躍に期待を寄せました。

校外学習を通して地域を知る



6月21日、学びの森小学校の3年生18人は、総合的な学習の時間で、学区内にある施設を見学しました。

チーズケーキ工房「MANIWA FARM」を訪れた児童は「どうやってチーズを作るの？」などと質問をして、町が誇る酪農について理解を深めました。

講師を務めた学校運営協議会の大森兼義さんは「遊びながら楽しく、地域を知ってほしい」と話し、今後も継続して学びの場の提供したいと力強く語りました。

SWING!! ブラックボトムブラスバンド演奏会



6月21日、町は関西で結成されたニューオリンズスタイルをベースに活動するブラックボトムブラスバンドの皆さんを招き、町内の全小学校4～6年生を対象とした移動音楽教室を文化センターで開催しました。

迫力のある演奏とユーモアを交えたトークを聴いてジャズに心を奪われた児童らは、ジャズ特有のリズムに合わせて手足を動かし、体全体で音楽を楽しみました。

黒田原小6年で音楽部の室井来胡さんは「音楽に合わせて体を動かすのが楽しかった」と、音楽が持つ力に驚くとともに、これからも音楽を続けたいと話しました。